

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-308669

(43)Date of publication of application : 05.11.1999

(51)Int.Cl.

H04Q 7/38  
H04M 1/02

(21)Application number : 10-109953

(71)Applicant : NEC SAITAMA LTD

(22)Date of filing : 20.04.1998

(72)Inventor : TOBA HIROYUKI

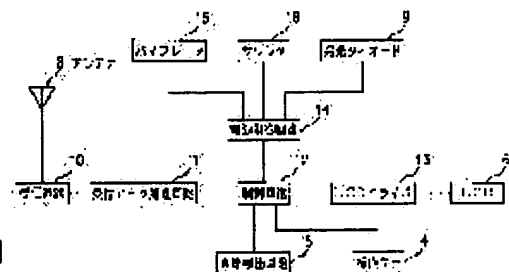
(54) DEVICE AND METHOD FOR INFORMATION ARRIVAL OF INCOMING CALL DURING ABSENCE FOR FOLDED TYPE PORTABLE TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a user to see display of arrival of an incoming call during absence, when a folding type portable telephone set is folded.

SOLUTION: When a user notifies the arrival of an incoming call and a control circuit 12 receives a closing signal from an opening/closing detection circuit 5, the control circuit 12 controls a power supply control circuit 14 for not driving an LCD driver 13, so as to avoid a display of an incoming call during the absence by a liquid crystal display 6, but to drive a light-emitting diode 9 to information the user of the arrival of an incoming call through lighting or blinking (display of incoming call during the absence). Furthermore, when the control circuit 12 receives an opening signal from the

opening/closing detection circuit 5, the control circuit 12 controls the power supply control circuit 14 not to drive the light-emitting diode 9 but to drive the LCD driver 13, which allows the liquid crystal display device 6 to display the arrival of an incoming call. Thus, the use is able to see the arrival of an incoming call during the absence, when the portable telephone set is folded.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]	20.04.1998
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	25.01.2000
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	3098488
[Date of registration]	11.08.2000
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]	2000-02430
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]	24.02.2000
[Date of extinction of right]	

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-308669

(43) 公開日 平成11年(1999)11月5日

(51) Int.Cl.<sup>9</sup>

識別記号

F I

H 0 4 Q 7/38

H 0 4 B 7/26

1 0 9 L

H 0 4 M 1/02

H 0 4 M 1/02

C

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-109953

(22) 出願日 平成10年(1998)4月20日

(71) 出願人 390010179

埼玉日本電気株式会社

埼玉県児玉郡神川町大字元原字豊原300番  
18

(72) 発明者 鳥羽 弘之

埼玉県児玉郡神川町大字元原字豊原300番  
18 埼玉日本電気株式会社内

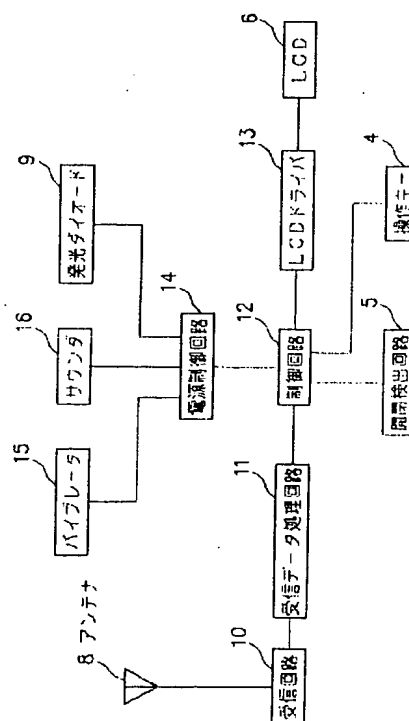
(74) 代理人 弁理士 丸山 隆夫

(54) 【発明の名称】 折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置及び方法

(57) 【要約】

【課題】 折り畳み型の携帯電話機の折り畳み時に不在時着信表示を見ることができる折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置及び方法を提供する。

【解決手段】 制御回路12は、使用者に着信があったことを通知する時において開閉検出回路5から閉検出信号を受けている時に、電源制御回路14を制御してLCDドライバ13を駆動しないことにより液晶ディスプレイ6による不在着信表示を行わず、発光ダイオード9を駆動して点灯または点滅（不在着信表示）により使用者に着信があったことを通知する。また、制御回路12は、開閉検出回路5から開検出信号を受けている時には、電源制御回路14を制御して発光ダイオード9を駆動せず、LCDドライバ13を駆動して液晶ディスプレイ6による不在着信表示を行うことにより、使用者は折り畳み時に不在着信表示を見ることができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、

前記携帯電話機の外側に配置され前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に着信表示をする不在時着信表示手段とを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記不在時着信表示手段は発光ダイオードで構成されていることを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 3】 請求項 2 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記発光ダイオードを消灯する消灯手段を有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 4】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、

前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを判断して前記操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断手段と、

前記携帯電話機の外側に配置され前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記着信応答判断手段からの前記着信応答信号を受けてない時に着信表示をする不在時着信表示手段とを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 5】 請求項 4 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記不在時着信表示手段は発光ダイオードで構成されていることを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 6】 請求項 5 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記発光ダイオードを消灯する消灯手段を有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 7】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り

畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、前記カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、

前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に前記携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示をする不在時着信表示ステップとを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法。

10 【請求項 8】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、前記カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、

前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを着信応答判断手段が判断し、前記操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断ステップと、

20 前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記着信応答判断手段からの前記着信応答信号を受けてない時に前記携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示をする不在時着信表示ステップとを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、折り畳み状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の折り畳み型携帯電話機は、本体とこの本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有している。この液晶ディスプレイは、使用者が不在時において基地局から着信呼び出し信号を受けた時に不在時着信表示をする。

【0003】

40 【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の折り畳み型携帯電話機においては、折り畳んだ状態において液晶ディスプレイが内部に位置しているため、折り畳んだ状態では使用者の不在時においての基地局から着信呼び出し信号を受けた場合に不在時着信表示を見ることができないという問題がある。

【0004】本発明は、折り畳み型の携帯電話機の折り畳み時に不在時着信表示を見ることができる折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置及び方法を提供することを目的とする。

50 【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、請求項 1 記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、携帯電話機の外側に配置されカバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時に携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に着信表示をする不在時着信表示手段とを有することを特徴とする。

【0 0 0 6】請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の発明において、不在時着信表示手段が発光ダイオードで構成されていることを特徴とする。

【0 0 0 7】請求項 3 記載の発明は、請求項 2 記載の発明において、カバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時に発光ダイオードを消灯する消灯手段を有することを特徴とする。

【0 0 0 8】請求項 4 記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを判断して操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断手段と、携帯電話機の外側に配置されカバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時に着信応答判断手段からの着信応答信号を受けていない時に着信表示をする不在時着信表示手段とを有することを特徴とする。

【0 0 0 9】請求項 5 記載の発明は、請求項 4 記載の発明において、請求項 4 記載の携帯電話機の不在時着信通知装置において、不在時着信表示手段は発光ダイオードで構成されていることを特徴とする。

【0 0 1 0】請求項 6 記載の発明は、請求項 5 記載の発明において、請求項 5 記載の携帯電話機の不在時着信通知装置において、カバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時に発光ダイオードを消灯する消灯手段を有することを特徴とする。

【0 0 1 1】請求項 7 記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、カバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時に携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示をする不在時着信表示ステップとを有すること

を特徴とする。

【0 0 1 2】請求項 8 記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを着信応答判断手段が判断し、操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断ステップと、カバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時に着信応答判断手段からの着信応答信号を受けていない時に携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示をする不在時着信表示ステップとを有することを特徴とする。

【0 0 1 3】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態を添付図面に基づいて詳細に説明する。図 1 は、本発明の 1 つの実施の形態としての折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置を示している。この携帯電話機は、本体 1 とこの本体 1 に開閉可能に取り付けられているカバー部材 2 とを具備する折り畳み型のものである。カバー部材 2 は、ヒンジ部材 3 を介して本体 1 に開閉可能に取り付けられている。

【0 0 1 4】本体 1 には、複数の操作キー 4 と、開閉検出回路 5 が設けられている。開閉検出回路 5 は、リードスイッチで構成されている。また、本体 1 には、不在時着信通知装置の主要部が内蔵されている。カバー部材 2 の内側には液晶ディスプレイ 6 および磁石 7 が設けられている。開閉検出回路 5 は、携帯電話機が折り畳まれた状態の時、すなわち、カバー部材 2 が閉じられた時に磁石 7 の磁力を検出して開検出信号を発生する。開閉検出回路 5 は、カバー部材 2 が開かれている時には開検出信号を発生する。なお、開閉検出回路 5 は、ホール素子で構成してもよい。また、カバー部材 2 にはアンテナ 8 が設けられている。さらに、カバー部材 2 の外側には、発光ダイオード 9 が設けられている。図 2 に示されるように、発光ダイオード 9 は、携帯電話機の折り畳み時においても使用者が目視によって確認することができる。

【0 0 1 5】図 3 に示すように、不在時着信通知装置は、受信回路 1 0 と、受信データ処理回路 1 1 と、制御回路 1 2 と、操作キー 4 と、開閉検出回路 5 と、LCD ドライバ 1 3 と、液晶ディスプレイ 6 と、電源制御回路 1 4 と、パイプレータ 1 5 と、サウンダ 1 6 と、発光ダイオード 9 とを有している。受信回路 1 0 は、アンテナ 8 に接続されている。受信データ処理回路 1 1 は、受信回路 1 0 に接続されている。受信データ処理回路 1 1 と、操作キー 4 と、開閉検出回路 5 と、LCD ドライバ 1 3 と、電源制御回路 1 4 とは、制御回路 1 2 に接続さ

れている。液晶ディスプレイ6は、LCDドライバ13に接続されている。バイブレータ15と、サウンダ16と、発光ダイオード9とは、電源制御回路14に接続されている。

【0016】基地局からの信号は、アンテナ8で受信して受信回路10を経て受信データ処理回路11により処理される。制御回路12は、受信データ処理回路11の出力信号を受けて基地局からの着信呼び出し信号であると判断した時に、使用者の携帯電話機に着信呼び出し信号を受けたことを通知する着信動作を行う。すなわち、制御回路12は、使用者が設定した内容に基づいて電源制御回路14を制御し、バイブレータ15またはサウンダ16を作動させる。使用者が操作キー4を操作して着信応答した場合は、通常の話動に移行する。

【0017】着信動作中に使用者が着信応答せず、かつ、制御回路12は基地局からの着信呼び出し信号が終了したと判断した時、すなわち、制御回路12は基地局からの着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間が経過した時に、着信データを記憶し、不在着信表示を行うことで使用者に着信があったことを通知する。

【0018】制御回路12は、使用者に着信があったことを通知する時において開閉検出回路5から開検出信号を受けている時に、電源制御回路14を制御してLCDドライバ13を駆動しないことにより液晶ディスプレイ6による不在着信表示を行わず、発光ダイオード9を駆動して点灯または点滅（不在着信表示）により使用者に着信があったことを通知する。

【0019】また、制御回路12は、開閉検出回路5から開検出信号を受けている時には、電源制御回路14を制御して発光ダイオード9を駆動せず、LCDドライバ13を駆動して液晶ディスプレイ6による不在着信表示を行う。

【0020】次に、本発明の1つの実施の形態としての折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置の動作を図3および図4に基づいて説明する。携帯電話機に着信呼び出し信号を受けると（ステップS1）、着信時設定動作を開始する（ステップS2）。着信時設定動作は、使用者が予め着信時の通知動作としてバイブレータ15またはサウンダ16を選択し、制御回路12に記憶させておく。この記憶内容に基づいて制御回路12は、バイブレータ動作モードであるか否かを判断する（ステップS3）。ステップS3においてバイブレータ動作モードである場合には、バイブレータ15を駆動して振動させることにより使用者に着信を通知し（ステップS4）、ステップS5に進む。ステップS3においてバイブレータ動作モードでない場合には、サウンダ16を駆動して音を発生することにより使用者に着信を通知し（ステップS6）、ステップS5に進む。

【0021】次に制御回路12は、使用者が操作キー4を操作して着信応答をしたか否かを判断する（ステップ

S5)。ステップS5において着信応答が有る時には通話状態に移行し（ステップS7）、通話状態が終了した時には（ステップS8）、ステップS1に戻る。ステップS5において着信応答が無い時には、着信時における所定時間の通知動作を終了した場合に、制御回路12は着信データを保存して（ステップS9）、ステップS10に進む。

【0022】次に制御回路12は、開閉検出回路5からの開検出信号が有るか否かを判断する（ステップS10）。ステップS10において開検出信号が有る時には、液晶ディスプレイ6による不在着信表示を行う（ステップS11）。次に液晶ディスプレイ6による不在着信表示が終了である時には（ステップS12）、ステップS1に戻る。

【0023】ステップS10において開検出信号が無い時には、発光ダイオード9による不在着信表示を行う（ステップS13）。次に制御回路12は、開閉検出回路5からの開検出信号が有るか否かを判断する（ステップS14）。ステップS14において開検出信号が有る時には、ステップS11に戻る。ステップS14において開検出信号が無い時には、発光ダイオード9による不在着信表示が終了であるか否かを判断する（ステップS15）。ステップS15において発光ダイオード9による不在着信表示が終了である時にはステップS1に戻る。

【0024】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、本発明によれば、折り畳み型携帯電話機の不在時着信表示を折り畳んだ状態で確認することができるので使用者にとって使い勝手の良いものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1つの実施の形態としての折り畳み型携帯電話機の開いた状態を示す斜視図である。

【図2】本発明の1つの実施の形態としての折り畳み型携帯電話機の閉じた状態を示す斜視図である。

【図3】本発明の1つの実施の形態としての折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置を示すブロック図である。

【図4】本発明の1つの実施の形態としての折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置の動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 本体
- 2 カバー部材
- 3 ヒンジ部材
- 4 操作キー
- 5 開閉検出回路
- 6 液晶ディスプレイ
- 7 磁石
- 8 アンテナ

9 発光ダイオード

10 受信回路

11 受信データ処理回路

12 制御回路

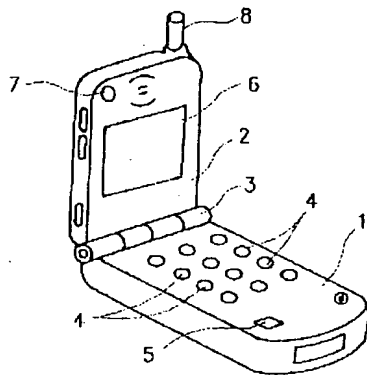
13 LCDドライバ

14 電源制御回路

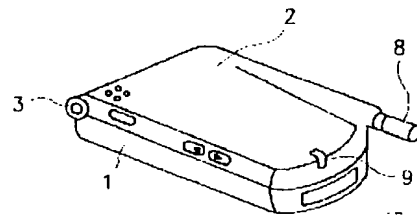
15 バイブレータ

16 サウンダ

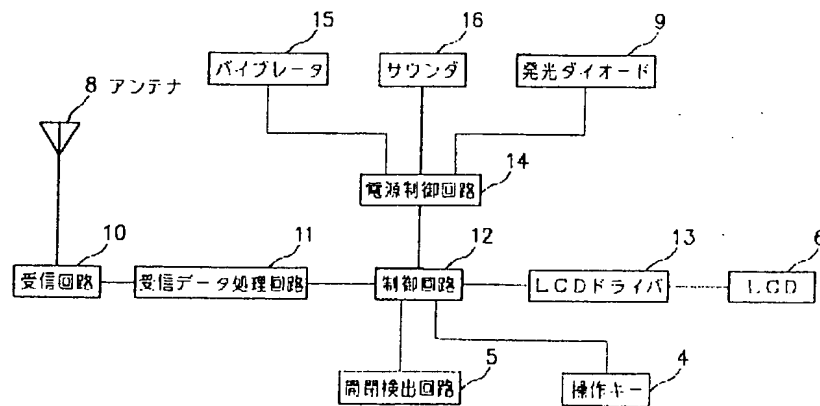
【図1】



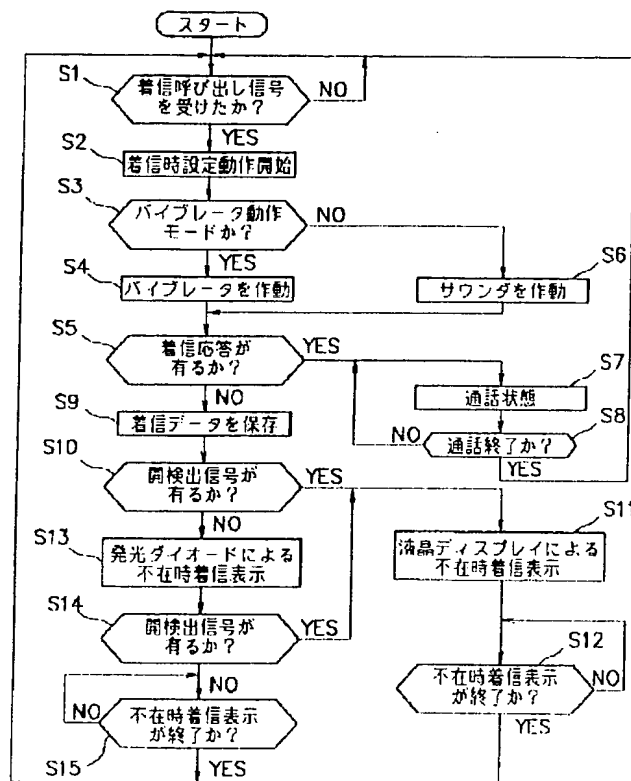
【図2】



【図3】



【図 4】



## 【手続補正書】

【提出日】平成 11 年 3 月 29 日

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、  
前記携帯電話機の外側に配置され前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に、前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示手段とを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記不在時着信表示手段は、前記カバー部材開閉検出手段により前記カバー部材

が開状態であれば前記液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行い、前記カバー部材が閉状態時であれば発光ダイオードを点灯または点滅して不在時着信表示を行うことを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 3】 請求項 2 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記不在時着信表示手段は、前記カバー部材開閉検出手段により前記カバー部材が閉状態時に前記発光ダイオードが点滅または点灯させる間に前記カバー部材の開状態が検出されると、前記発光ダイオードの点滅または点灯を消灯する消灯手段を有し、  
前記消灯手段により前記発光ダイオードを消灯後に前記液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行うことを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 4】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、  
前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた



時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを判断して前記操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断手段と、  
前記携帯電話機の外側に配置され前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記着信応答判断手段からの前記着信応答信号を受けていない時に着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示手段とを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 5】 請求項 4 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記不在時着信表示手段は、前記カバー部材開閉検出手段により前記カバー部材が開状態であれば前記液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行い、前記カバー部材が閉状態時であれば発光ダイオードを点灯または点滅して不在時着信表示を行うことを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 6】 請求項 5 記載の折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、前記不在時着信表示手段は、前記カバー部材開閉検出手段により前記カバー部材が閉状態時に前記発光ダイオードが点滅または点灯させる間に前記カバー部材の開状態が検出されると、前記発光ダイオードの点滅または点灯を消灯する消灯手段を有し、前記消灯手段により前記発光ダイオードを消灯後に前記液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行うことを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置。

【請求項 7】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、  
前記カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、  
前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に前記携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示ステップとを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法。

【請求項 8】 本体と該本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、前記カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、  
前記カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、  
前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを着信応答判断手段が判断し、前記操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断ステ

ップと、

前記カバー部材開閉検出手段が前記カバー部材の開状態を検出している時に前記着信応答判断手段からの前記着信応答信号を受けていない時に前記携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示ステップとを有することを特徴とする折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、請求項 1 記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、携帯電話機の外側に配置されカバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時に前記携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の発明において、不在時着信表示手段は、カバー部材開閉検出手段によりカバー部材が開状態であれば液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行い、カバー部材が閉状態時であれば発光ダイオードを点灯または点滅して不在時着信表示を行うことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正内容】

【0007】請求項 3 記載の発明は、請求項 2 記載の発明において、不在時着信表示手段は、カバー部材開閉検出手段によりカバー部材が閉状態時に発光ダイオードが点滅または点灯させる間にカバー部材の開状態が検出されると、発光ダイオードの点滅または点灯を消灯する消灯手段を有し、消灯手段により発光ダイオードを消灯後に液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行うことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正内容】

【0008】請求項4記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知装置において、カバー部材の開閉を検出するカバー部材開閉検出手段と、携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを判断して操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断手段と、携帯電話機の外側に配置されカバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時において着信応答判断手段からの着信応答信号を受けてない時に着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示手段とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正内容】

【0009】請求項5記載の発明は、請求項4記載の発明において、不在時着信表示手段は、カバー部材開閉検出手段によりカバー部材が開状態であれば液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行い、カバー部材が閉状態時であれば発光ダイオードを点灯または点滅して不在時着信表示を行うことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正内容】

【0010】請求項6記載の発明は、請求項5記載の発明において、不在時着信表示手段は、カバー部材開閉検出手段によりカバー部材が閉状態時に発光ダイオードが点滅または点灯させる間にカバー部材の開状態が検出されると、発光ダイオードの点滅または点灯を消灯する消

灯手段を有し、消灯手段により発光ダイオードを消灯後に液晶ディスプレイ上に不在時着信表示を行うことを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正内容】

【0011】請求項7記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、カバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時において携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時に携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正内容】

【0012】請求項8記載の発明は、本体と本体に開閉可能に取り付けられているカバー部材とを具備し、カバー部材が閉じられた状態において内部に液晶ディスプレイを有する折り畳み型携帯電話機の不在時着信通知方法において、カバー部材の開閉をカバー部材開閉検出手段が検出するカバー部材開閉検出ステップと、携帯電話機が基地局から着信呼び出し信号を受けた時点から所定時間内に操作キーが操作されたか否かを着信応答判断手段が判断し、操作キーが操作されたと判断した時に着信応答信号を発生する着信応答判断ステップと、カバー部材開閉検出手段がカバー部材の開状態を検出している時において着信応答判断手段からの着信応答信号を受けてない時に携帯電話機の外側において不在時着信表示手段が着信表示を行った後に、不在時着信表示を行う不在時着信表示ステップとを有することを特徴とする。